

令和6年度後期終業式校長あいさつ

令和6年3月22日
高校校長 山内 悟

皆さん、おはようございます。

令和5年度の終業式にあたり、中学校・高校の校長を代表して、話をさせていただきます。

3月1日には高校3年生、そして昨日は中学校3年生が卒業しました。今日は、残った皆さんだけが集まっての終業式になりました。

卒業式は、高校・中学校ともに、卒業生の皆さんの学校生活に対する思いや将来に向けての決意などを共有することができました。在校生の皆さん一人ひとりにとっても、心に深く感じるものがあった、そして思い出に残る貴重な時間となったのなら、非常にうれしく思います。

参加いただいた来賓の皆さんからは、非常に素晴らしい式だったとの感想をいただきました。「卒業生たちが、それぞれどのような道に進んでいくのかと想像すると、胸がいっぱいになった。」といったコメントもいただきました。私たち教職員も、生徒のみなさんの言葉や歌声、所作の一つ一つから発せられるメッセージに、心が震えました。

4月になると、高校・中学校ともに、新入生が入学してきます。ひとつ上の学年に進んだ先輩として新入生を迎え、高志高校・中学校を生徒のみなさんにとって更に価値ある学校にするためには、どうするといいいでしょうか。

まずは、皆さん一人ひとりが、これまでの振り返りを行い、次への目標設定、そしてそれを達成するための具体的な行動計画を立てて、明日からの春休みを迎えてください。自分が、何を目指し、何を実現させたいと思っているのか、そのために今何に力を注いでいるのか、といったことを俯瞰しながら、日々を過ごしてもらうことが大事だと思います。

話を変えます。

1月1日に能登半島地震が発生しました。犠牲となられた方には心からお悔やみを申し上げますとともに、今も避難生活を余儀なくされるなど被害に遭われている皆様にはお見舞いを申し上げます。

被害に遭われた方たちのために、私たちに、今、何ができるか。

私は、先生方に対して、生徒の皆さんにこの問いを発信してくださいとお願いしました。生徒の皆さんは、この問いに対する自分の答えを探してくれたのでしょうか。何かアクションを起こしてくれた人はいるのでしょうか。

募金をするとか、ボランティアに行くといった、即興的・直接的なことでもなく、皆さん一人ひとりが、それぞれの答え探しをし続けてくれたのであれば、大変うれしいです。何かできること、したいと思うことがすでに見つかっているなら、一人で、あるいは仲間を募って、行動を起こしてほしいと思います。

ちなみに、私自身は何をしてきたかという、

- ・先生方に生徒への働き掛けをお願いした。
- ・輪島高校の校長先生とコンタクトを取り続けている。
- ・輪島高校の校長先生のブログを『緑葉』の巻頭言で紹介した。
- ・わずかばかりの募金をした。
- ・輪島高校で学ぶ小学生・中学生・高校生に読んでもらうために本を送った。
- ・今日、こうやって、皆さんに輪島地震の話をしている。

など、自分にできるアクションを、それほど無理のない範囲で、取り続けてきました。近い将来、輪島を訪れたいと思っていますが、今は諸般の事情で見合せています。

皆さんにも、できることはいろいろあるのではないのでしょうか。

正しい情報を集めて事実情報をしっかり理解すること、現地の状況を想像して自分事としてとらえること、何ができるか、何をすべきかを考え続けること、そして行動を起こすこと、が大事なのだと思います。

ここで私が伝えたいのは、能登半島地震に限ったことではありません。

- ・私たちが普段当たり前に享受できているものが、場所や環境などが違えば、当たり前ではないということ、自分事として理解するようにしてほしい。
 - ・そのような状況にいる人たちの暮らしや思いに考えを巡らせてほしい。
 - ・そのような人たちへの対応について考え、適切に行動できる人であってほしい。
- ということです。

さらに、話を変えます。

今年度末で本校を退任されるある先生が、先日、校長室にご挨拶に来てくださいました。その先生は、これまで県内の多くの学校に勤務されてきた方です。先生は、「今回、高志高校に勤務して、気づいたことがある。それは、生徒が非常に前向きだということだ。」とおっしゃられました。私も、そう思います。生徒のみなさんがそのような姿でいてくれるから、皆さんをサポートしたいという先生方のモチベーションが高まるのだと思います。

目的意識を持って、自ら考え、自ら学び、自ら行動し、果敢にチャレンジしようとする生徒たちが集う高志高校・中学校であり続けてほしい。私は、そう思います。

この春休みは2週間と時間は限られていますが、皆さんには主体的な取り組みをしてもらいたい。そして、令和6年度が意欲と活気に満ちた雰囲気スタートできる学校にしてもらいたいと期待しています。

以上で、私の話を終わります。